

談話会のお知らせ

講師

北海道大学大学院理学研究院
教授 寺尾 宏明 先生

タイトル

「Shi arrangements
and derivation modules」

Shi配置はルート系に対して定義されるアフィン超平面配置であり、J. Y. Shiにより、1986年に導入された。Shi配置のもつ著しい組合せ的性質のゆえに、R. Stanley, Ch. Athanasiadis等のcombinatorialistsによって研究され、1996年にいわゆるEdelman-Reiner予想が提示された。それはShi配置の錐化の自由性の予想を含むもので、2004年に吉永正彦によって肯定的に鮮やかに解かれた。

本講演では、以下の“歴史”に加え、2010～11年にかけての陶山大輔、Gao Ruimeiとの共同研究により得られたA, B, C, D型の各ルート系に対応するShi配置について、導分加群の基底のexplicitな構成について解説する。またその構成と、Solomon-Terao(1998)のdouble Coxeter配置の導分加群の基底の（ルート系によらない）構成法との関連を論ずる。

日時

平成23年10月27日(木)
16:30～17:30

場所

理複412室

問合先/世話人
数理科学科/金子譲一